



皆既月食を観察しよう

2014年10月8日の夜、「皆既月食」が起こります。

「月食」とは、月が地球の影の中に入り、月が欠けて見える現象です。

月の一部が欠けるものが「部分月食」、月全体が欠けるものが「皆既月食」です。

ただ、皆既月食中には、全く月が見えなくなるわけではなく、右写真のような「赤黒い月」が見られます。赤黒く見える理由は、太陽光の青い光が地球の大気中で分散されて、赤い光だけが月へ届くためなのです。



2014年10月8日 皆既月食の様子（久留米）

ステラナビゲータ ver.9 で作成



今回の皆既月食は、2011年12月10日以来、約3年ぶりです。今回が曇りや雨でも、2015年4月4日（土）にも皆既月食が起こりますので、ぜひ観察してみてください。

「皆既月食スケッチ用紙」に月が欠けていく様子を記録してみよう。

【観察するときの注意】

- 安全な場所で、大人と一緒に観察しましょう。
- 東の空が開けた場所で観察しましょう。
(2～3日前に、月の出る場所を観察しておくといいですよ)
- 双眼鏡や望遠鏡を使う場合、絶対に太陽を見てはいけません。



福岡県青少年科学館

福岡県久留米市東櫛原町 1713
0942-37-5566